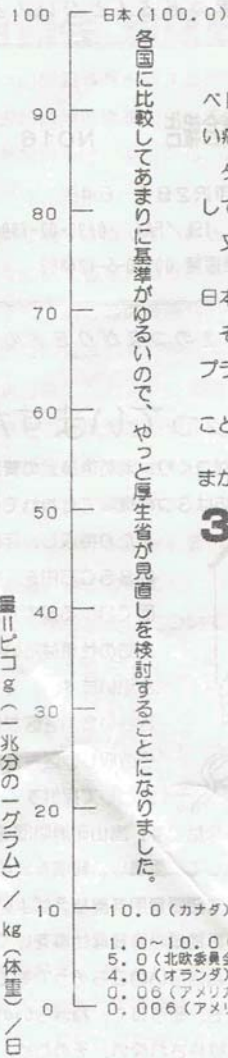


ダイオキシンの一日摂取許容量(標準の国々)比較



人類が作り出してしまったおそれ

ベトナム戦争でダイオキシンを含む枯葉剤がまかれ、人間や自然にひどい痛手を負いました。ダイオキシンの問題が、表面化しています。

ダイオキシンは、ある種の除草剤に多量にふくまれて、それが使われて、使われていることで農産物、土壌、河川を汚染しています。又、焼却場の灰、排ガスからダイオキシンが検出されています。

日本で空中に放出されているダイオキシンは、1年間に**7.4kg**、そのうち約80%がゴミ焼却場の煙から放出されています。

プラスチックごみと他のゴミを混ぜて燃やすとダイオキシンが発生することはわかっています。ベトナム南部には**170kg**のダイオキシンがまかれました。このままプラスチックと普通のゴミと一緒に焼却

30年後はベトナムで枯葉剤がま



ダイオキシンをこれ以上増やさない

怖い毒物ダイオキシンを知っていますか。



焼かれた時と同じくらい危険な大気になります。

日本の焼却処理されるゴミ量は、アメリカの2倍強、ヨーロッパよりもはるかに多いことより、日本のゴミ焼却が世界中のダイオキシンの発生多くの原因となります。

嵐山町のゴミは、小川衛生組合のゴミ焼却場で燃やしています。

ゴミの中身は分別されず、プラスチックも他のゴミも一緒に焼却です。住民には、ゴミを処理することはできないことから、行政がしっかり、ゴミ焼却処理の危険性をわかって、プラスチックゴミを分別する処理を制度をつくるしかないので、

衛生組合の焼却炉は老朽化し、新しい焼却場を建設します。大型焼却炉を建設して、なんでもかんでも燃やす処理から、分別して、ごみをださない方法をつくって行くべきです。

そうしないと地球が死んでしまいます。

ためには、プラスチックごみの分別収集が必要です。